

お客様各位



健全な取引ならびに安定供給に向けたお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本協会会員企業に対しまして、格別なるお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

鑄造業界は、ユーザー様の競争力強化に貢献すべく、鑄物製品を継続して安定供給するために製品開発、品質向上、納期確保、コスト低減等に日々努め、サポーター・インダストリーとして我が国のものづくりを支えてまいりました。

ご承知の通り、鑄造業界は電力多消費産業であり、昨今の電力料金の高騰による影響は計り知れず、燃料費調整額等の急激な上昇、2023 年早々には大手電力会社による大幅な値上げが予定されており、電力料金が年初比で 3 倍以上になる企業も多くなっています。その負担増はまさに死活問題となっております。

また、国際的なカーボンニュートラルへの対応、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ロシアのウクライナ侵略や円安の進行などの要因が重なり、スクラップ、鑄物用銑鉄、アルミ、銅ならびに様々な副資材、中子費、物流費等、あらゆる費用が値上がりしている状況です。特に鑄物用に使用される上級スクラップは、市況価格にプレミアム分を加えなければ入手出来ない状況も発生しており、今後は上級スクラップの入手自体が困難になることも危惧されています。

さらに、中小企業を中心に人手不足は恒常化しており、働き方改革への対応、最低賃金や物価の大幅上昇等に対応する為のベースアップや昇給をしなければ、従業員の確保もままならず、その結果として安定供給にも支障が出かねない状況に直面しております。

これら当業界を取り巻く環境は、会員企業の自助努力の域を超え、持続可能な鑄造産業の維持が危ぶまれる事態に至っております。是非とも、経済産業省策定の「素形材産業取引ガイドライン」の「原材料価格、エネルギー価格（電気・ガス等の燃料費）、運送費、労務費等のコスト増の転嫁」に基づき、これらのコストアップ要因にご理解・ご協力をいただくとともに、取引価格の設定に際しては、主原材料だけでなく、副資材、エネルギー価格、労務費等々につきましても、コスト変動を折り込んだ価格への対応を改めてお願い申し上げます。

取引適正化については、政府において、これまで「未来志向型の取引慣行に向けて（世耕プラン）」（平成 28 年 9 月）、「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」（令和 3 年 12 月）を策定、また、2026 年に約束手形の廃止を打ち出すなど、一層の価格転嫁と取引適正化を推進がなされているところであります。

当協会でも、適正取引や付加価値の向上に繋がる望ましい取引慣行を普及、定着させる観点から、政府の動きに連動して下請取引の適正化に向け一層努めてまいります。そしてなによりユーザーの皆様にも、高品質な鑄物製品を安定供給する責任を果たしていく所存です。

何卒、現在の鑄造業界の実情をご理解いただき、当協会の会員が貴社へ伺った際には、持続可能なサプライチェーンの維持のためにもご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

末筆ながら貴社の益々のご繁栄を心からご祈念申し上げます。

敬 具